
儂き華、散るが如し

machi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

儂き華、散るが如し

【Nコード】

N3476Z

【作者名】

machi

【あらすじ】

何百年も昔、共に闘った者達の裏切り

永い眠りから覚めた時、物語の歯車は動き出す。

姫、目覚めの時（前書き）

かなり拙い文章で内容があっちこっちに

行くかもしれませんが

温かい目で見て頂けると嬉しいです。

姫、目覚めの時

住宅街の中に佇む、一際大きな家。

洋風建築の家には、家の大きさにそぐわない人数しか暮らしていない。

まだ青年と呼べる年代の詰襟の制服を着た学生、メイド服の少女、着物姿の老夫婦。

青年はすぐ近くの進学校に通う、学校では女生徒に人気の近衛狗。何人もの女生徒が告白し玉砕し続けている男。無口で無愛想だが、そこが女子にはまた良いらしい。

そんな狗には、日課にしている事がある。

家の中でも入口から一番遠く、一番大きな扉のある部屋。

学校から帰ると、狗は毎日そこへ向かう。

大きな扉を開くと、扉の大きさに合わせたような部屋の広さ。調度品は一級品の物で揃えられてはいるが、生活感がまったくない。

そんな部屋で一際目立つ、キングサイズのベッド。その上にベッドに沈み込むようにして、少女が眠りに着いている。

少女の名は春日乃柚姫。

狗がこの世の中で、誰よりも心から愛している少女。

「ただ今戻りました、柚姫様」

学校帰りに最初に挨拶するのが、狗の決まり事。

ベッドの上の柚姫は、長い髪に埋もれるようにして眠っている。

規則正しく動く胸を見て、狗は安堵する。柚姫が眠りに入ってから二十余年経つ。今までで一番長い眠り。狗にとっては初めてで、これほどまでに長いものだとは知らなかった。

ベッドの横の椅子に座り、伯は何をするでもなく柚姫の寝顔を眺める。その時が、狗にとってこの世の中で一番心休まる時間。

「狗」

ドアをノックする音と共に、狗の心休まる時間を邪魔する声が届

く。

「総次郎」

拍が振り向くと、ドアには柚姫の世話係だった、九十九総次郎がいた。

白髪の髪を後ろに撫でつけ、元々ある深い皺の顔をさらに皺を深めた厳しい顔で眠っている主をちらりと見る。

「また、ここにおったのか」

狛がいるのと反対側にある窓際に総次郎が立つ。

「総次郎は近寄りませんね」

総次郎は柚姫の顔を見たまま懐かしそうな顔と何かを諦めたような顔を見せる。

「どうかしたのか、総次郎」

「…狛は柚姫様がこのまま目を覚まさなければどうする？」

滅多に見せない総次郎の弱い声に狛は驚きつつも、すうすうと眠る柚姫の頬に触れる。

「柚姫様のこの鼓動を感じる限り待ち続ける…それが俺の使命だ」

「お前ならそう言うと思ってたよ」

「総次郎は違うのか？」

「そんなわけないだろう。今日はあの日だから少し気落ちしていただけだの事」

それだけ言うと総次郎は部屋を出ていく。

狛はベッドに浅く腰かけ、柚姫の髪を優しく撫でる。

「いつまでも…お待ちしております、柚姫様」

遠い昔の話。

一人の姫と四人の騎士がおったそうさだ。

姫の一族には特別な力が代々受け継がれ、その中でも姫は一族一の力を持っていた。

そんな姫を守るのは四人の騎士。

姫から特別な力を貰った四人の騎士は「命に代えてもお仕えします」の言葉とともに姫の不思議な力に目が眩んだ者達から姫を守り、時には姫と協力しその時代を生きて来た。

しかし、ある裏切りにより姫は真つ赤に染まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3476z/>

儂き華、散るが如し

2011年12月11日22時59分発行